

SS-WLAN

接続マニュアル

はじめに

この度は、本製品を本製品及び Klark Teknik 製品をお買い上げ頂きまして誠にありがとうございます。本製品は Klark Teknik 製品をコンピュータで外部コントロールする際に正確に、より安定した状態を提供するために開発されましたシステムサコム製の SS-WLAN を用いて、ワイヤレス接続を可能にしました。このマニュアルは、Klark Teknik の製品とコンピュータのワイヤレス(LAN)接続をするための設定を紹介いたします。

SS-WLAN に関しては、プロフェッショナル使用をクリアーするために 1U サイズのメタルボディーに Klark Teknik 社がサポートしている(動作確認済)サードパーティー製品を組み合わせ外部電源を使用せずに設置できる環境を提供します。また RS-485 に関しては業界で標準の XLR コネクタを採用し、製品との接続をスムーズで確実に行うことができます。

SS-WLAN 本体に関する問い合わせは(株)システムサコム販売社に直接お問い合わせください。また、内部の個々の製品に関する詳細は、付属マニュアルを参照して頂き、SS-WLAN と Klark Teknik 製品の接続に関してはこのマニュアルを参照してください。

SS-WLAN の仕様

▶ 無線 LAN

Cisco System, Inc 社 LINKSYS Wireless-G「WRT54GS-JP」組み込み済
「WPC54GS-JP」PC カード

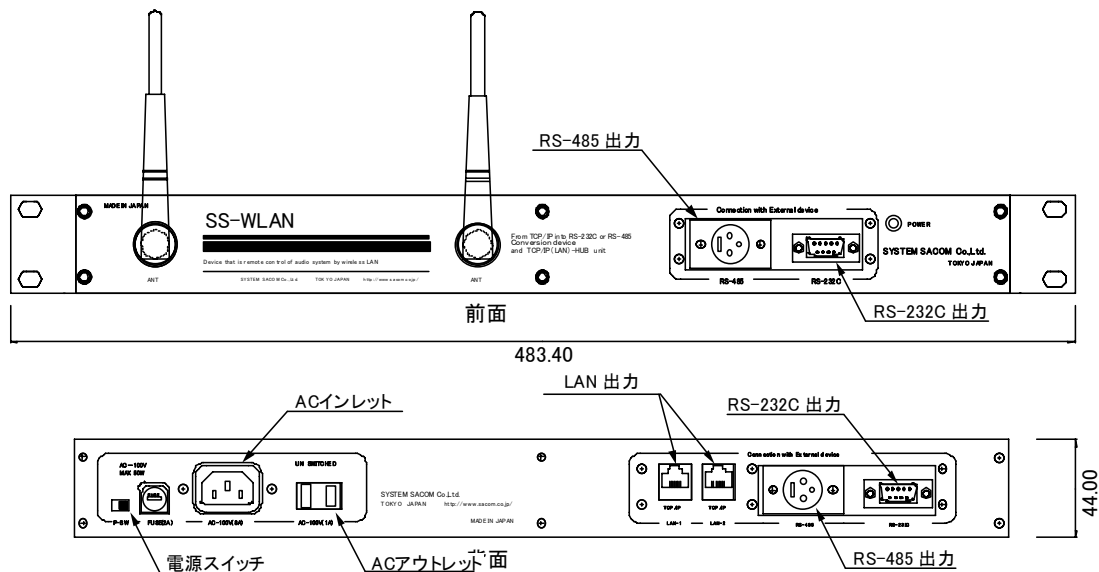
▶ RS-232C/RS-485 - LAN コンバータ

LANTORONIX 社「UDS100」組み込み済

付属品の詳細は、(株)システムサコム社の「SS-WLAN 取扱説明書」を参照してください。

1、Helix System(DN9340/44)と SS-WLAN の接続	3
2、ワイヤレス LAN の接続	4
2.1、コンピュータ側のワイヤレスネットワーク設定	4
2.2、優先ネットワークの設定	4
3、SS-WLAN の設定	5
3.1、WRT54GS-JP の設定確認の方法	5
3.2、UDS100 の設定確認の方法	6
3.2.1、DeviceInstaller のインストール	6
3.2.2、DeviceInstaller を起動する	6
3.2.3、RS232/RS485 の設定	7
4、バーチャル Com-Port の設定	8
4.1、Redirector のインストール	8
4.2、Redirector の起動と設定	8
5、接続確認をする	10
5.1、Elgar を起動する	10
5.2、Comms Mode 設定	10
6、Helix をコントロールする。	11
6.1、電波状態	11
6.2、接続状態	11
7、リセット	12

1. Helix System(DN9340/44)と SS-WLAN の接続



- ▶ Helix System のホストコード(Host Cord)を Ver3.03 以上であることを確認してください。
- ▶ Helix System の全てのユニットをスレーブに設定し、正しくID をふってください。(ID はシステムネットワーク内で必ず重複しないようにしてください。)
- ▶ SS-WLAN と Helix System の接続に関して、RS-232 では SS-WLAN のフロント又はリアの RS-232 と最初の Helix ユニットのフロントポートに Helix に付属しているケーブル(D-Sub 9 - Pin 8-Mini DIN)で接続してください。RS-485 では、SS-WLAN のフロント又はリアの XLR コネクターと Helix ユニットのリアコネクターを通常の XLR ケーブルで接続してください。

注意) RS-232/RS-485 の接続の切換えに関しては、後で説明がある UDS100 の設定項目内にあります。つまり、RS-232/RS485 を同時に使用することができませんので、事前に使用する目的に合わせて、RS-485 または RS-232 接続をするか決めなければなりません。RS-232 接続を選択すると Midas コンソールとの「ソロリンク(STS)」を動作させることが可能となります。

重要:

出荷時の設定を変更して、その後ワイヤレス接続が出来ない、ネットワークパスワード、IP などを忘れてしまった場合は、無線 LAN モジュールをリセットする必要があります。

「7. リセット」を参照してください。

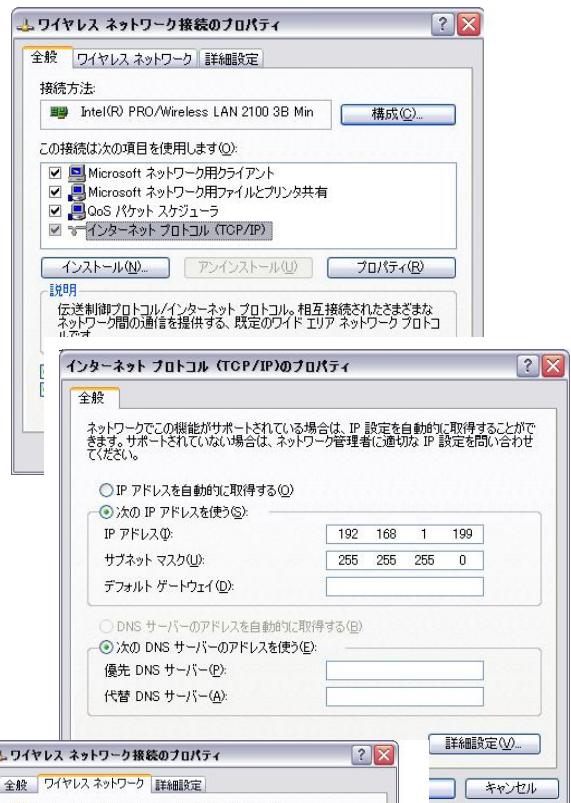
2. ワイヤレス LAN の接続

SS-WLAN との接続を行うために、コンピュータと SS-WLAN をワイヤレス接続させなければなりません。ここからの説明に関しては Windows XP(SP-2)での接続方法を一例として進めていきます。

2.1 コンピュータ側のワイヤレスネットワーク設定

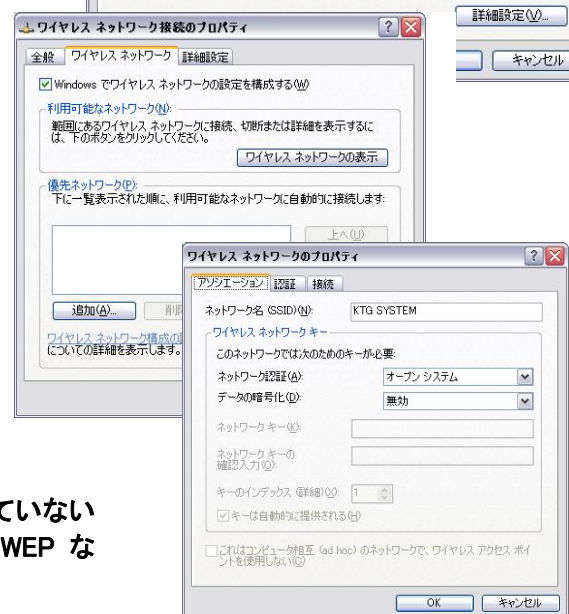
コンピュータ内に既に IEEE 802.11g、IEEE 802.11b 規格のワイヤレス LAN が入っているものか、SS-WLAN に付属の PC カードを使う方法と 2 通りあります(上記以外での PC カードでも接続可能です)。

- ▶ SS-WLAN の電源を入れて、コンピュータ内または、PC カードを正常に設定してワイヤレス機能を有効にしてください。
- ▶ ネットワーク接続をコントロールパネル内から見つけて開いてください。
- ▶ 右図のようにワイヤレスネットワーク接続のプロパティを開いて、インターネットプロトコルを選択してプロパティを開いてください。
- ▶ 右図のようにインターネットプロトコルのプロパティを開き、
 - 「次の IP アドレスを使う」
 - 「次のサーバのアドレスを使う」
 を選んでください。
 - **IP アドレス: 192.168.1.199**
 - **サブネットマスク: 255.255.255.0**
 - **デフォルトゲートウェイ: 192.168.1.200**
 と入力してください(一例です)。
- ▶ OK を押して画面を閉じてください。



2.2. 優先ネットワークの設定

- ▶ ワイヤレスネットワーク接続のプロパティ内のワイヤレスネットワーク(右図)を選び、優先ネットワークの「追加」を選んでください。
- ▶ SS-WLAN は出荷時に SSID が「KTG SYSTEM」となっていますので、
 - ネットワークネーム「KTG SYSTEM」
 - ネットワーク承認「オープンシステム」
 - データ暗号化「無効」
 に設定してください。



注意) 現在の状態では、セキュリティの保護がされていないネットワークとなっています。接続を確認後、WEP などのセキュリティを行うことをお勧めします。

3. SS-WLAN の設定

SS-WLAN の内部には、LINKSYS「WRT54GS-JP」のワイヤレス LAN モジュールと LANTORONIK「UDS100」RS232/485-LAN コンバータが組み込まれています。出荷時に既に設定がされています。設定は以下の表で確認出来ます。

WRT54GS-JP		UDS100	
IP アドレス(出荷時)	192.168.1.200	IP アドレス(出荷時)	192.168.1.201
サブネットマスク	255.255.255.0	シリアルプロトコル	RS-232
DHCP サーバ	無効	スピード	38400
通信モード	ミックス	Character Size	8
SSID	KTG SYSTEM	パリティ	None
無線チャンネル	6ch	ストップビット	2
暗号化機能	無効	フロー制御	None
SSID ブロードキャスト	無効(非通知)	Local(TCP) Port	10001
ネットワークパスワード	admin	Idle time	Force Transmit 52mS

3.1 WRT54GS-JP の設定確認の方法

- ▶ Internet Explorer を起動して、「http://192.168.1.200」と入力します。
- ▶ ワイヤレス接続が正常に動作していると「WRT54GS-JP」に接続を開始します。パスワードに「admin」と入力してください(ユーザー名は空白)。
- ▶ 画面は「WRT54GS-JP」の設定画面を表示します。上記の表で示されている設定となっています。



もし、ワイヤレスにセキュリティを有効にしたい場合はこのページよりアクセスが出来ます。詳細に関しては、付属の LINKSYS のマニュアルを参照してください。

注意)WEP が一般的なセキュリティですが、ワイヤレスセキュリティを有効に設定するにはパスワードを入力します。生成すると暗号キーを発行されます。必ずメモに取り大切に保管してください。そしてコンピュータ側のワイヤレス設定内の項目に確実に入力してください。**ワイヤレスセキュリティを有効にする場合は、必ずファイヤーウォール無効にしてください。**



3.2 UDS100 の設定確認の方法

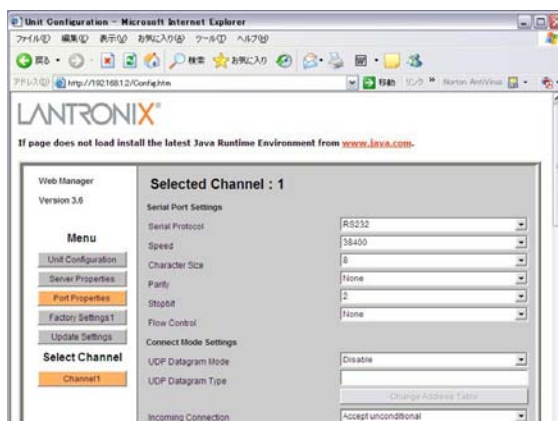
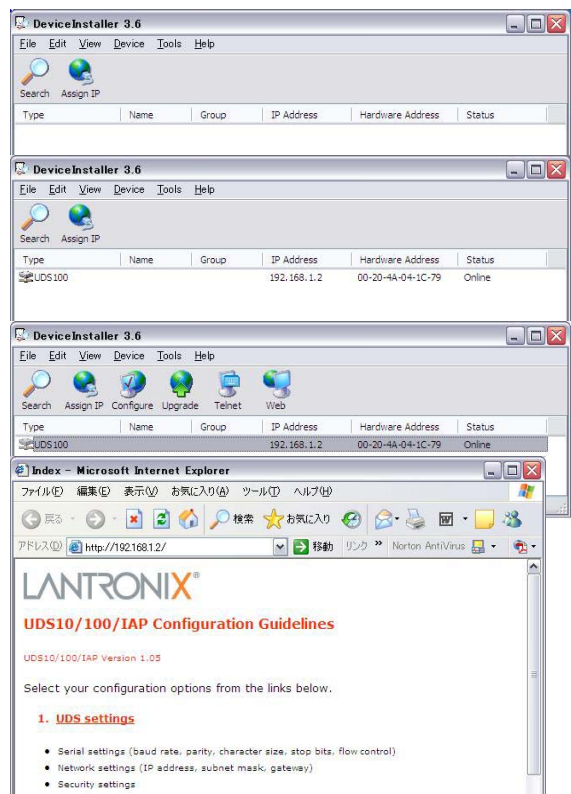
3.2.1 DeviceInstaller のインストール

- ▶ SS-WLAN に付属している LANTRONIX 「UDS100」の CD より、DeviceInstaller をインストールしてください。
- ▶ 画面に従ってインストールを正常に終了させ、プログラムを起動してください。(Programs > Lantronix > DeviceInstaller > DeviceInstaller)



3.2.2 DeviceInstaller を起動する

- ▶ DeviceInstaller を右図のようにスタートメニューから起動してください。
- ▶ 起動すると右図のようにアプリケーションが起動します。
- ▶ 「Search」ボタンを押すと、ネットワーク上にある UDS100 を自動的に探し出します。ワイヤレス接続が有効であれば、右図のように UDS100 を表示し IP を「192.168.1.201」で OnLine であることを示します。
- ▶ UDS100 の設定を確認/変更する場合は、使用する UDS100 を選択(グレーに変わります)、Web ボタンを押します。
- ▶ リンクして Internet Explorer が起動して、右図の画面が表示されます。
- ▶ UDS settings を選択してください。

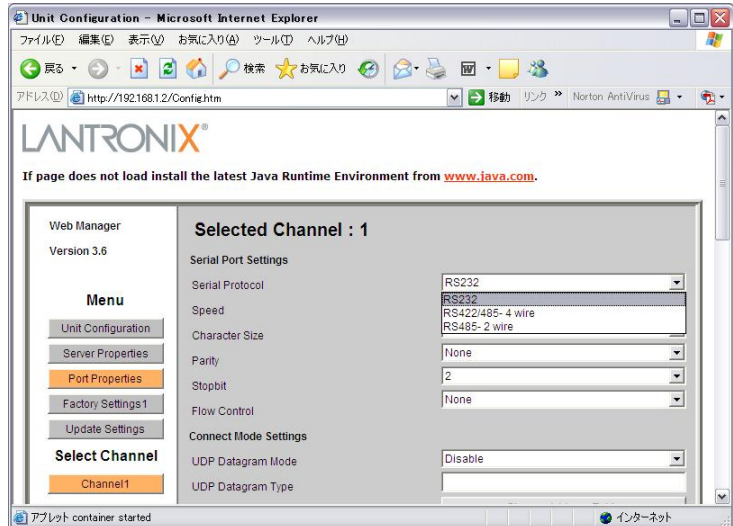


- ▶ もし、図のような Internet Explorer が起動しても画面が表示されない場合は、Java ソフトウェアの最新をコンピュータにインストールする必要があります。ダウンロード先は「<http://java.com/ja/>」です。無料ダウンロードできます。

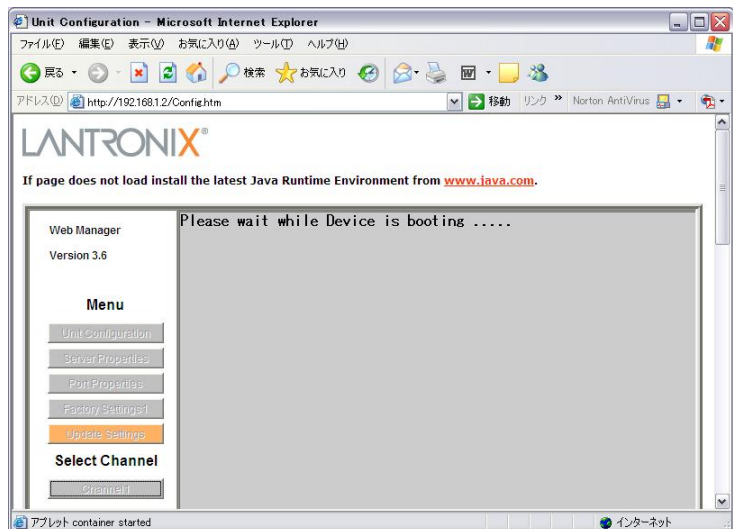
- ▶ 画面は現在の UDS100 の設定を表示します。また、設定の変更はこの画面より行うことができます。特に RS-232 か RS-485 の接続を設定する画面はこのページで行うことができます。

3.2.3 RS232/RS485 の設定

- ▶ 右図のように RS232 又は RS485 を選択してください。



- ▶ 選択した内容を UDS100 に保存するために、画面の「Update Settings」ボタンを押してください。画面はデバイスの書き換えを行っている間、右図のように画面表示になり、終了すると元の画面に戻ります。



4. パーチャル Com-Port の設定

コンピュータ内のソフトウェアの出力先を定めるために、バーチャル Com-Port のソフトウェアを使用します。このソフトウェアによりソフトウェアの通常の Com 出力を TCP/IP プロトコルに変換をしてワイヤレス LAN を経由して UDS100 に送り、RS-232 又は RS485 に変換されて Klark Teknik 製品をリモートコントロールすることが可能になります。SS-WLAN で使用している LANTRONIX「UDS100」では、ソフトウェア「Redirector」を使用してコントロールをします。

4.1 Redirector のインストール

- ▶ SS-WLAN に付属している LANTRONIX「UDS100」の CD より、Redirector をインストールしてください。
- ▶ インストールを画面に従って正常に終了してください。



4.2 Redirector の起動と設定

- ▶ スタート > プログラム > Lantronix Redirector > Configuration で RDCfg を起動してください。(又はデスクトップのショートカットより)

- ▶ Silent Mode を OFF にしてください。(クリックを外す)

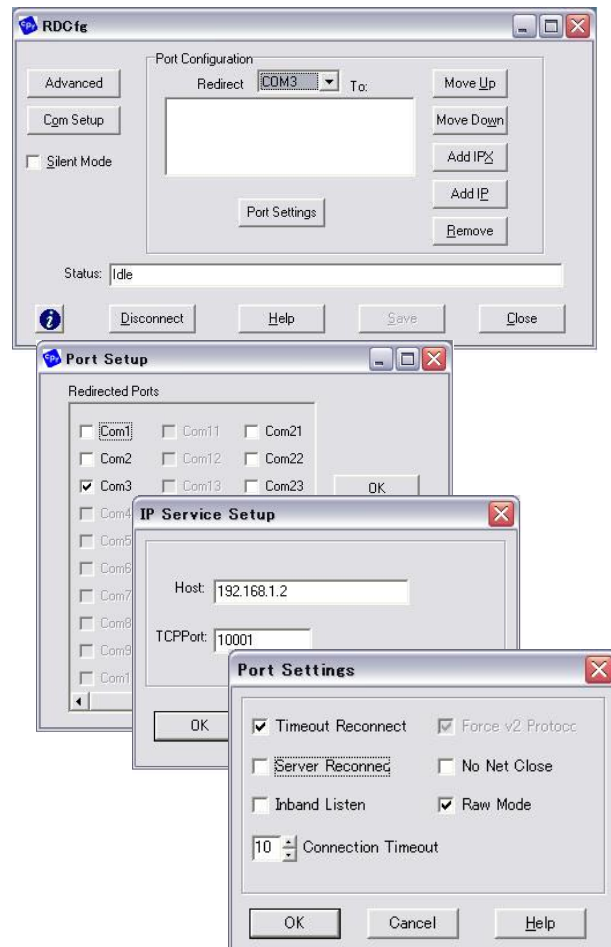
- ▶ Com Setup を押して、Com ポートを設定しますが、これは現在コンピュータで使用できる Com ポートを表示します。使用するコンピュータソフトウェア(リモートコントローラー)の Com 出力と同じ Com-Port を選択してください。選択後 OK で画面を閉じてください。

- ▶ 画面の Add IP ボタンを押して、IP 設定の画面を表示し入力してください。

- Host: 192.168.1.201
- TCP Port: 10001

OK を押して画面を閉じてください。

- ▶ Port Settings ボタンを押して、画面を開いてください。右図のように Timeout Reconnect と Raw Mode は選択、それ以外は OFF にして、Connecton Timeout を 10mS に設定してください。OK で閉じて下さい。



- ▶▶ Advanced ボタンを押して、右図のように
 - TCP Keep Alive(mS): 72000000mS
 - Run as service: 選択(チェックを入れる)と設定をして OK をして画面を閉じて下さい。
- ▶▶ RDCfg 画面に戻り、最後に SAVE ボタンを押してコンピュータを再起動して下さい。

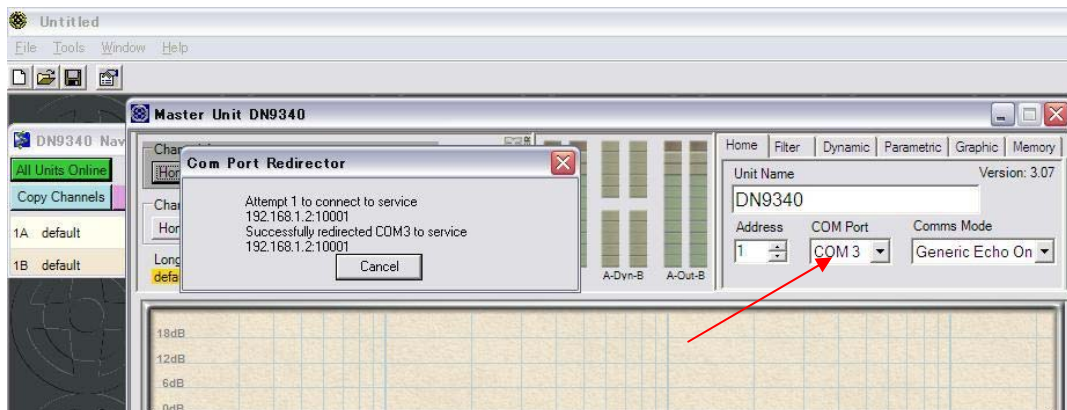
**重要:**

出荷時の設定を変更して、その後ワイヤレス接続が出来ない、ネットワークパスワード、IP などを忘れてしまった場合は、無線 LAN モジュールをリセットする必要があります。「7. リセット」を参照してください。

5. 接続確認をする

5.1 Elgar を起動する

- ▶ Elgar を起動します。
- ▶ 必要な数の Helix Add-In を画面に表示させます。
- ▶ 最初の Helix Add-In を表示させると RDCfg で設定した Com-Port が Helix Add-In に設定されていれば、画面のように UDS-100 に接続できたことを示します。

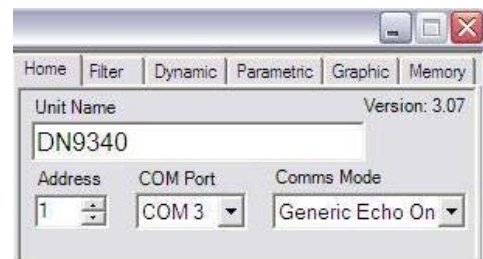


- ▶ 画面では Com-3 に設定していますが、もし、Helix Add-In が別の Com-Port に設定されていたならば、Com-3 に設定を変更すると自動的に RDCfg は起動して接続を開始し、画面のように接続が正常に行われたことを示します。

5.2 Comms Mode 設定

- ▶ RS-232 又は RS-485 接続を行うには、Helix RCS の設定も変更しなければなりません。

232/485	Comms Mode
RS-232	Generic Echo On
RS-485	Generic Echo Off



- ▶ 上記の図のように RS232 または RS485 で使用する場合には設定が変わりますので注意しなければなりません。

6. Helix をコントロールする。

1-5までの内容を全てクリアすることが出来れば、Helix はコンピュータからワイヤレス接続を經由してコントロールすることが可能になります。実際に全ての Helix ユニートを接続してみましょう。

6.1 電波状態

- ▶ コンピュータと SS-WLAN を結んでいる電波の状態は、「ワイヤレスネットワーク接続の状態」の「シグナルの強さ」で確認することが出来ます。



6.2 接続状態

- ▶ 特にワイヤレス接続では、電波状況、建物や壁、遮蔽物に左右されますが、Helix RCS は個々のユニットとの接続状態を Navigation 画面で確認することが出来ます。



All Units Online						All Units Offline
Copy Channels		Memory Management	Function Locking		Solo Tracking	
1A	LEFT	Home	Filters	Dynamic	Parameters	Graphic [X]
1B	RIGHT	Home	Filters	Dynamic	Parameters	Graphic [X]
3A	BASS	Home	Filters	Dynamic	Parameters	Graphic [X]
3B	GTR	Home	Filters	Dynamic	Parameters	Graphic [X]
4A	SAX	Home	Filters	Dynamic	Parameters	Graphic [✓]
4B	CENTRE	Home	Filters	Dynamic	Parameters	Graphic [✓]
5A	DRUMS	Home	Filters	Dynamic	Parameters	Graphic [?]
5B	HI-HAT	Home	Filters	Dynamic	Parameters	Graphic [?]
10A	KIT	Home	Filters	Dynamic	Parameters	Graphic [X]
10B	KEYBOARD	Home	Filters	Dynamic	Parameters	Graphic [X]

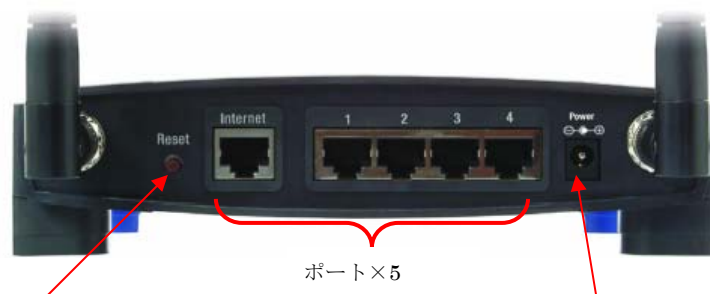
- ▶ ファースト・ナビゲーション表示では、各チャンネルの接続状態を、緑 [✓] (オンライン)、赤 [X] (オフライン)、黄色 [?] (接続確立を行っている) で示されます。
- ▶ もし、[?] の状態が続くとソフトウェアは接続を確立するため何度か確認をします。その間に電波状態が良好にならないと接続は切断されてしまいます。

7. リセット

セキュリティ設定や自らの IP 変更、誤った設定変更などにより WRT54GS-JP の設定をブラウザから変更できなくなってしまった場合や通信が出来なくなってしまった場合は、リセットを行って工場出荷に戻して改めて設定を行う必要があります。以下のような手順で行ってください。

- ▶ リアパネルの電源スイッチを OFF にしてください。
- ▶ SS-WLAN 本体の天板を外してください。上部 6 点、前後中心 2 点のネジを外してください。
- ▶ WRT54GS-JP(無線 LAN モジュール)の基盤を見つけてください。

- ▶ 2 本のアンテナの間にある 5 つのポート、DC 電源コネクタ、押しボタンスイッチを見つけてください。配列は図のようになっています。



- ▶ 注意して SS-WLAN の電源を入れてください。

- ▶ リセットスイッチを 10 秒間以上、押し続けてください。WRT54GS-JP 本体の LED が点滅したらリセットが行われたことを示します。
- ▶ リセットボタンを開放して、SS-WLAN の電源を切ってから本体の天板を元通りに戻してください。
- ▶ リセットを行うと本体は LINKSYS の出荷状態の完全な初期設定に戻ります。設定は以下の表の通りです。

LAN 側ネットワーク設定		基本設定		セキュリティ設定	
IP アドレス	192.168.1.1	設定画面管理パスワード	admin	暗号化機能	無効
サブネット	255.255.255.0	SSID	linksys	SSID ブロードキャスト (SSID 通知機能)	有効
DHCP サーバ機能	有効	無線チャンネル	6		

- ▶ 上記初期設定のまま使用することは問題ありませんが、「3. SS-WLAN の設定」の出荷時の設定に戻していただく事をお勧めします。



Midas Consoles Japan Division ダイヤルイン : 03-6661-3801
URL.<http://www.midasconsolesjapan.com> Email.info@midasconsolesjapan.com



本 社 〒 130-0011 東京都墨田区石原 4-35-12 TEL 03-6661-3825 FAX 03-6661-3826
大阪営業所 〒 531-0072 大阪府大阪市北区豊崎 3-4-14-602 TEL 06-6359-7163 FAX 06-6359-7164
URL.<http://www.bestecaudio.com> Email.info@bestecaudio.com

仕様および外観は、改良のため予告なく変更する事があります